

Published since 1971

日工販NEWS

February
2025

工作機械業界への知見を広げ、日工販会員の絆を深める広報誌

旧グラバー邸(長崎県長崎市)



日本工作機械販売協会

JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION



精度は
チャックが
決める。

BR
SERIES



詳しい情報は二次元コードにアクセス

Tnut-Plus



ジョー脱着後の
ジョーの再成形が不要！

時間削減 ⌚

コスト削減 ¥

BR-AJC



標準BRチャックが
クイックジョーチェンジチャックに！

Kitagawa

株式会社 北川鉄工所 キタガワ グローバル ハンド カンパニー
〒726-8610 広島県府中市元町77-1 Tel.(0847)40-0561 Fax.(0847)45-8911

日工販NEWS

February
2025



旧グラバー邸（長崎県長崎市）

SE 合格者に
ご回覧をお願いします。

CONTENTS

- 2 巻頭言
「日本、韓国、台湾は対等」
日本工作機械販売協会 理事 富田 薫
- 4 特集 2025 年 日工販 賀詞交歓会
- 12 特集 わが国工作機械産業の需給実績と見通し
- 17 分かりやすい話題の技術
「ツーリングによる高能率化加工」
大昭和精機株式会社 川村 真巳
- 20 分かりやすい話題の技術
「高精度微細加工 縦型マシニングセンタ YMC650」
安田工業株式会社 高橋 章
- 23 工作機械と私
株式会社マックマシンツール 平石 優希
- 24 会社生活に於ける私の初〇〇
「初めての転勤」 株式会社ヤマモリ 小島 一志
- 25 私の好きなお店
「鮓 くおん」 宮脇機械プラント株式会社 一森 政宏
- 26 私の読書評
「盲導犬クイールの一生」 日本産商株式会社 高橋 卓見
- 27 感動したスポーツの名場面
「体力と瞬発力」 米沢工機株式会社 谷田貝 太一
- 28 私の健康法
吉川鐵工株式会社 錦 博幸
- 29 リレー随筆
ユアサ商事株式会社 水谷 祐介
- 30 統計資料
「工作機械・FA 流通動態調査 1」「工作機械・FA 流通動態調査 2」
「マシニングセンタ動向 & NC 施盤動向」
「工作機械業種別受注額（2024 年 12 月）」
「2024 年小型工作機械・受注高統計表」
- 35 お知らせ
日工販 NEWS 表紙写真の公募について

巻頭言

Introduction

日本、韓国、台湾は対等

私は昨年、十数年振りに韓国（ソウル）、台湾（台北）を訪問した。十数年前にこれらの国を訪問した時の印象は、日本の方がすべての分野で進んでいる気がしたし、日本より30%位物価が安いと思った。

今回訪問して、様変わりを実感した。

2023年の人口	2023年の GDP/1人	2024年 11月の円との交換レート
日本 1億2,435万人	5,097,447円	
韓国 5,177万人	4,977,027円	1 ウォン = 0.1099円 (44.7% up 2010年比)
台湾 2,341万人	4,855,705円	1 台湾ドル = 4.5円 (62.8% up 2010年比)

ソウル、台北共大都会であり、高層ビルがそそり立ち、その景色は広告の現地文字がなければニューヨークや東京と殆ど変わらない。マンションの価格が1億円以上とかで、それも東京と同じである。現地で食事をし、買い物をし、ホテルにも泊まったが、これらの価格も東京と殆ど変わらない。彼らの国はインフレであったし、彼らの通貨がUSドルと連動し、円に対し常に強かった為である。

アジアの戦後の産業史は日本がアジアで初めて先進国入りをし、日本が技術を教え、工場資本を投下した韓国、台湾が成長し先進国となり、日本と韓国、台湾が中国、東南アジアに技術を教え、工場を建てそれにより現地が成長している。現代において日本が技術革新、攻めの経営を怠ると韓国、台湾、中国にあらゆる工業分野で取って代わられる可能性が大である。



日本の工作機械、工具の専門商社が、昨今日本マーケット向けの工業製品がないかと韓国、台湾製品をさがすが、昔のイメージである“価格安く、品質は二流”のメカ製品は殆どない。品質は日本製より少し劣りそうであるが価格が日本製とほぼ同等である製品が多い。

韓国には世界企業、サムスングループ（DRAM、有機ディスプレイの世界トップ）や現代起亜自動車グループ（世界第3位）があり、台湾にはTSMC（世界最大半導体専業ファンドリー）があり、これらの企業群のティア1、ティア2サプライヤー企業が力をつけている。韓国、台湾共日本と比べ人口は少なく、内需を余り期待出来ない。彼らサプライヤーの目（マーケット）は欧米、中国、アジアに向いている。現地の中堅企業を訪問すると、営業マネージャーに女性が多く、又英語が堪能である。

特にTSMCやサムスンのお陰で、AIロボット（ディープラーニング）や3Dヴィジョンカメラ等の現地先端技術機器サプライヤー群が日本と同等又はそれ以上の技術力がありそうである。これら先端製品を取り扱う事が日本の工作機械、工具専門商社の将来の楽しみである。



日工販 理事 富田 薫
(株式会社トミタ 取締役会長)



2025年 日工販 賀詞交歓会

日時：2025年1月9日（木） 12：30～14：00

場所：第一ホテル東京 5階「ラ・ローズ」

日工販の2025年賀詞交歓会が、第一ホテル東京5階「ラ・ローズ」において1月9日（木）12時30分より盛大に開催されました。

当日は、関係官庁、関係団体、報道関係から多数ご来駕いただき、126社（団体）266名（正会員99名、賛助会員メーカー126名、賛助会員リース13名、来賓他28名）と大盛況でした。

懇親パーティは中島専務理事の司会進行の下、高田会長の主催者挨拶に引き続き、経済産業省製造産業局産業機械課長 須賀千鶴様、ならびに（一社）日本工作機械工業会会長 稲葉善治様よりそれぞれご来賓を代表してご挨拶を賜りました。続いて日本工作機械輸入協会会長 金子一彦様の乾杯ご発声の後、お時間の許す限り賀詞交歓をお楽しみいただきました。

宴もたけなわ、島津副会長の一本締めにより中締めとなり散会いたしました。

年始ご多用の中、ご来駕賜りました経済産業省須賀課長を始めとするご来賓の方々、会員各位にあらためて御礼申し上げますとともに、本年のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。（事務局）



役員によるお出迎え
（左から高田会長 岡本副会長 島津副会長 中島専務理事）



皆様あけましておめでとうございます。日頃は日工販の活動に多大なるご協力ご参加をいただきまして誠にありがとうございます。

本日は経済産業省から課長 須賀様、課長補佐 川内様、係長 宇佐美様、また日本工作機械工業会から会長の稲葉様他、各団体から会長においでいただきまして誠にありがとうございます。皆様とこの新年をお祝いしたいと存じます。

昨年は1月1日に能登半島が地震に見舞われ、多くの方が被災されました。また9月にも豪雨となり、復興半ばで非常に厳しい状況を迎えている中、我々社会全体、国を挙げてしっかりフォローしていく必要があるのではないかと考えている次第です。世界情勢としてもロシア～ウクライナの問題や、イスラエルなど中東問題、そして中国経済と、様々な面で厳しい1年ではなかったかと思っています。不透明な年というのが昨年だったと思っています。毎年のように“不透明”と言い続けていますが、本当にここ数年は不透明感を拭えない年ではなかったかと思っています。

昨年11月にはJIMTOF2024が開催され、大盛況のうちに終わりました。自動化・効率化・知能化・デジタル化といった技術革新、工程集約や複合加工機など構造的な大変革が求められている中、日本の製造業は生産性を向上させ、競争力を回復させることが緊急の課題ではないかと思っています。しかし、残念ながら日本の製造業はそれを理解しながらも、遅々として変化を嫌い、将来展望が開けていないというのが現状ではないかと思っています。特に中小企業においては、現状のままでは多くの会社が淘汰されるのではないかと危惧してしまして、国のバックアップの下に日工販をはじめ業界の皆様と共に需要を喚起させていきたい、そして生産性向上・生産現場の改善など商社は積極的にスキルを身に付ける、という中で教育事業をしっかりと充実させていきたいと思っています。

日工会・日工販にとって非常に重要な顧客である自動車業界におきましては、日産自動車(株)と本田技研工業(株)の合併であるとか、また認証問題など生産が厳しい状況もございました。また電気自動車の関係ですが、昨年から様相が変化し、BEVに関する投資が先送りされるということや、それに伴って我々内需の数字も厳しくなってくると思っています。トヨタ自動車(株)はエンジンを開発していることから、これからエンジンへの投資が進むと思っていたのですが、既存の設備を改造して生産に充てるという状況もあり、自動車業界における生産設備の拡充と増資というのはなかなか厳しかった1年であったろうと思います。また半導体装置においても昨年夏くらいには回復するのではないかとと言われていましたが、まだ少々厳しい状況ということのようです。今年の





春くらいには回復するのではないかと聞いていますが、それもわからないという状況だろうと思います。

そういう状況で今年をどう見るかということなのですが、正直言って非常に厳しい1年であろうと思っています。先ほども申し上げたように BEV の関係の投資はやや先送りになっている、もうひとつはトランプ氏が政権を執るということで、どこでモノを作ればよいかということを見極められる段階ではないということもあり、各企業が投資先をまだ選んでいるという状態にあります。

我々としては、現場に入って、生産性向上を始めとして現場で仕事を進めていくというのが今年のテーマではなかろうかと思っています。2025年は業界の分水嶺だと思っています。これまでのやり方でやっていくか、それとも変革に挑んでいくか、これが日工販としての進むべき方向であると思っていますので、皆様と共に変革に対して挑戦をしていきたいと考えています。

最後になりますが、ここ数年、日工会の目標受注高と日工販の内需目標値を挙げていましたが、ことごとく外れてきたため、今回提唱するのは“日工会数値の3分の1”が日工販の役目だということを皆様にご理解いただきたいと思います。また、内需向上、需要の喚起は勿論のことですが、各社の生産現場・製造会社の方には“変わらないと日本のものづくりはなくなってしまう”という気概を心に留めおいていただくようお願いしまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

来賓ご挨拶

経済産業省 製造産業局 産業機械課長 須賀 千鶴様

新年あけましておめでとうございます。経済産業省の須賀でございます。本日は日本工作機械販売協会の賀詞交歓会にお招きをいただきましてありがとうございます。

昨年は元旦の地震を始めまして自然災害に見舞われた1年でもございましたが、経済指標をマクロで見ますと30年ぶりの高水準の賃上げと設備投資、そして史上最高水準の株価、名目 GDP も600兆円を超えるということで明るい兆しのニュースを耳にする1年でもございました。日本政府としては、是非この動きを着実に地に足の着いたものとして定着させていくということに今年は全力を注ぎたいと思っ

ておりまして、内需の拡大も含めましてしっかりと取り組んでまいりますが、工作機械業界の皆様におかれましても賃上げ・設備投資・価格転嫁などの面で引き続き積極的な取り組みを是非とも宜しくお願いしたいと思っております。

世界に目を向けますと、今年は米国で新政権が誕生いたします。強固な経済関係は二国間関係



の土台を成すものです。特に投資については、安心して日本企業が判断できる環境を整えることが政府の役目と思っております。日本の国益に資する形で米国の新政権にはまずこの点をよくお伝えしながら、日米の経済関係を一層発展させたいと考えております。

昨今、AIやIoTの技術によって、生産現場でもプロセス全体のデジタル化や様々な機械間でのデータ連携など、新しい技術やソリューションが次々と生まれてきています。生産現場の中核となる工作機械を始めまして、産業用ロボット、搬送装置、測定検査機器などを組み合わせたシステムソリューションや、複数の加工を1台で行う複合加工機などが次々と現場に実装されていく一方で、作業員の高齢化や技術人材の不足等の課題により、新しい技術や製品の活用になかなか踏み切れないユーザー事業者がいらっしゃることも事実です。日頃から日工販の皆様には現場の細かなニーズを聞き取り、最適な生産ラインの構築のための解決策を果敢にご提案頂いていることと存じますが、こうした取り組みは日本の製造現場の強みである現場力の維持・強化に繋がっているものです。今後とも、生産現場の実情や課題を踏まえまして、最適な機能を有した工作機械がより多くの現場で導入され、わが国の製造業全体の競争力強化へとつながるように皆様にご尽力いただきたいと期待しております。

いよいよ本年、4月13日から大阪関西万博が開催されます。世界中から来訪者を迎えるこの一大国際イベント、是非大阪だけではなく、東京も含めまして一緒になって盛り上げてまいりましょう。既に皆様には様々ご協力を頂いているところではありますが、チケットのご購入、社員への配付も含めまして、一層のご協力を賜れば大変ありがたく存じます。

最後になりますが、日本工作機械販売協会の皆さまの益々のご活躍、ご健勝を心からお祈りいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

来賓ご挨拶

(一社)日本工作機械工業会 会長 稲葉 善治様 (ファナック^株 取締役会長)

皆様あけましておめでとうございます。

2024年を振り返りますと、不透明・不確実に加えて不安定、本当にどうなっていくのだろうと極めて難しい局面であったろうと思います。そういう中で、日工販の皆様には大変なご尽力を賜り、工作機械の販売に全力を尽くしていただきまして誠にありがとうございます。

日工会といたしましては、グリーン・デジタル・レジリエンスを合言葉に、新しいものづくりということでIoT、AI、自動化などを駆使して日本の製造業の今までのやり方を変えていこうとしています。こういっ





た技術はよくモノからコトへという言葉に表されますが、しかし“いいモノがなければいいコトが出来ない”というのが私どものモットーです。従いまして、ただのソフトとかAIでもし片が付くのであれば、日本を追いかけている新興国の機械に負けてしまうということになります。しかしながら、工作機械というのは一朝一夕に出来るものではございません。よって、しっかりと今までの技術の上に立ってこういったことを達成しようとするアプローチ、こういった呼びかけに昨年のJIMTOF2024では工作機械メーカーからそういったコンセプトも随分と展示されたと思います。そういう中で有難いことにJIMTOF2024は大変盛況でした。日工販の皆様には今年はその刈り取りをよろしくお願い申し上げます。

そして今年2025年ですが、先ほどの不透明・不確実・不安定といったこの三重苦のような状況は、残念ながらこれからもまだしばらくは続くと考えています。しかしながら、2024年より悪くなる要素は見当たりません。従いまして、日工会としては今年の目標を前向きに捉えたいと考えています。高田会長からも内需三分の1のお話でしたが、三分の1と言わず是非半分まで上げていただきたいと思います。日本のものづくりが途絶えたらどうするのか、貿易収支は赤字の状況であり、海外からのあがりて経常収支はどうか均衡になっている状況です。日本が稼ぐ力を失ったら今の円安はもっと進み、さらに悪化すれば我々が輸入しているエネルギー・食料・原材料それらすべてが値上がりしてしまうわけですし、それをしっかりと価格に転嫁していければいいのですが、なかなかそうもいかないのが現実です。やはり過度な円安は我々産業界にとってはブレーキになってしまうと考えています。

日本のものづくりをまた立て直すためには日工販の皆様と共に、製販協力して新しい提案、日本の伝統あるしっかりとした工作機械を使って、それに対してIoTとかAIとか今の新しい技術を加えて提案をしていくという、これを是非とも進めていければと考えております。

今後も大変厳しい状況は続きますが、この2025年、必ず昨年の2024年よりいい年にしたいと考えております。

結びになりますが、日工販の皆さまのますますのご活躍、そして本日ご参集の皆様のご健勝ご活躍を祈念申し上げまして私の挨拶といたします。ありがとうございました。



懇親パーティの様子

乾杯ご挨拶とご発声

日本工作機械輸入協会 会長 金子 一彦 様 (三宝精機工業(株) 代表取締役)

皆様あけましておめでとうございます。

本日は日本工作機械販売協会賀詞交換会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。乾杯の前に一言ご挨拶申し上げます。

日本工作機械輸入協会と日本工作機械販売協会とが長年友好な関係を続けていることは皆さまご存じのことと思います。特に我々輸入協会の会員が輸入した商材を日工販の会員がエンドユーザーに販売していただくケースは非常に多く、日工販はビジネスの重要なパートナーであると認識しています。またレクリエーションの面では、日本精密機械工業会を含めた三団体ゴルフコンペを年に1回開催しており、三団体の親睦を深めているという関係を続けております。

それでは、乾杯の発声をさせていただきます。皆様ご唱和をお願いいたします。

日工販のさらなる発展とご臨席の皆様のご健勝を祈念し、勢いよく活気ある年にしましょう。
乾杯！



乾杯！



中締め挨拶

日本工作機械販売協会 副会長 島津 昌孝 (三菱商事テクノス(株) 代表取締役社長)

本日は年始のお忙しい中、日工販の賀詞交歓会にこれほど多くの皆様においでいただきまして誠にありがとうございます。

2024年は、我々が対面する製造業が結構厳しい状況だったという話を多くの皆さまからお聞きしまして、予想以上に厳しい年だったのだということを実感しております。一方で、2025年はまだまだ海外の経済も不透明なところもございますし、米国のゆくえ、中国も含めて必ずしも明るいニュースが揃っているわけではありません。

そのような混沌とした状況にあって、我々はこの日工販も含め日本の製造業発展のために何が出来るのだろうとよく考えます。なかなか明確な解答は出てこないのですが、その中で我々に出来ることは日本の製造業の生産効率を上げるしかない、やはりそれ以外の解答はないと思います。そこで我々に何が出来るかと考えると、やはり生産性の高い設備の導入をお手伝いして、競争力を上げるしかありません。当然、全てのお客様の仕事が増えて欲しいのですが、今は生産性の悪い設備には中々、仕事も回って来ないということがあります。一方、このような厳しい環境においても、新しい設備をご購入いただけるお客様はいらっしゃいます。そこに行きますと、やはり自動化も進んでいますし、何よりも社員の皆さんが生き生きとして仕事をされています。そういった会社にはモチベーションが非常に高い社員がいらっしゃるのだと思います。また、そこに多くの仕事も集まっているのが実態です。結局、このような厳しい時期は仕事が沢山あるお客様となかなか仕事が回ってこないお客様とで二極化しています。その違いは、持っている設備にあるようです。

従って、日工販の会員として出来ることは、1台でも多く最新の設備を入れて、結果日本の製造業の生産効率を上げていく、これしかないと思っています。我々日工販のメンバーは、その生産効率を上げる方法・手段・考え方について如何にお客様を説得しうるか・・・ということに尽きると考えていますので、是非会員の皆様は自らの営業スキルに磨きをかけて、お客様の生産性を上げる提案を皆でしていければと思っています。

最後に、ここにお集まりいただきました皆様と日本の製造業のますますの発展を祈念いたしまして一本締めにて締めたいと思います。



中締め



受付の様子



お出迎え



司会進行 中島専務理事



懇親パーティの様子



懇親パーティの様子



懇親パーティの様子



日工販関連団体である日本精密機械工業会の賀詞交歓会が
同月15日(水)に第一ホテル東京にて開催。
当交歓会で乾杯発声を前に挨拶する高田会長。

わが国工作機械産業の需給実績と見通し

(株) ニュースダイジェスト社主催「2025 FA 業界新年賀詞交歓会」が、去る1月10日（金）「中日ホール」にて、FA 業界の経営者など約700名の方々がご出席の中、開催されました。

主催者である同社代表取締役社長 樋口八郎氏のご挨拶の後、「業界展望」について編集長の八角秀氏よりご講演があり、2025年の受注見通しとして1兆7,000億円と発表がございました。また続けて、(一社) 日本工作機械工業会 会長の稲葉善治氏からは、2025年の受注見通しとして昨年実績より約1割増とする1兆6,000億円との発表がございました。

ご講演に引き続き、第40回「ND マーケティング大賞」贈呈式が行われ、DMG 森精機 (株) 取締役社長 森雅彦氏に贈呈された後、受賞講演がございました。

その後、「どうなる今後のFA 業界」と題した恒例の新春トップインタビューが樋口社長の司会進行のもとに行われました。(一社) 日本工作機械工業会 会長の稲葉善治氏、DMG 森精機 (株) 取締役社長 森雅彦氏にご出席され、今年の業界見通しや重点とする施策などにつきご意見を交わしました（紙面の都合上内容については割愛します。なお概要は「月刊生産財マーケティング（2025年2月号）」に掲載されています）。

当日は、夕刻より懇親パーティーが開催されました。

以下に (株) ニュースダイジェスト社のご厚意により、当日配付されました資料を転載致します。



愛知県機械工具商業協同組合副理事長として出席した、日工販の高田研至会長が当日賀詞交歓会の中締めにあたり挨拶をした際の一コマ。

わが国工作機械産業の需給実績と見通し

[2025年1月10日発表・暦年ベース]
ニュースダイジェスト社「月刊生産財マーケティング」編集部

1. 受注

●昨2024年の受注総額は前年比1.8%減の1兆4600億円となった。22年3月の月次受注額1663億円をピークに3年弱にわたって軟調が続いている。23年末前後で下降傾向にはブレーキがかかったものの、24年はほぼ一年を通じて底這いだった。内外需とも景気の不透明感が強く、とりわけ内需は自動車産業における投資控えの影響もあり、苦しい状況が続いている。外需は、大手企業による大型の投資案件が堅調で、24年の受注総額は1兆円を超えた。しかし、個々の工作機械メーカーにとっては、失注時のダメージの大きさ、受注時の負荷の分散や納期リスクなどが課題となっている。

●25年の受注総額は1兆7000億円と予想する。主要市場である米国では、トランプ政権による各種経済政策がプラスに働くと思われる。特に円安傾向の継続と原油価格の引き下げに期待できる。中国は、全体経済の本格回復は見通せないものの、政府の各種経済政策による底堅さが予想される。欧州は、ドイツを中心に厳しい状況ではあるものの、ロシアによるウクライナ侵攻が和平合意に至った場合の復興需要が期待される。自動車、半導体産業といった主要産業も、先延ばしになっている設備投資計画が年次から年後半に向けて動き出すと期待される。

2. 生産

●昨2024年の生産額は前年比14.4%減の9000億円となった。受注環境が下降傾向から底這いへと移行するに従い、生産ペースも下方へと調整された。受注残は年間を通して7000～8000億円レンジを堅持しており、決して低い数字ではない。

●25年の生産額は同16.7%増の1兆500億円と予想する。受注環境は底這いからのスタートとなるが、米政権の新体制を筆頭に、政治的なプラス要因、下支え要因は数多い。それぞれ劇的な回復を主導するものではないものの、受注の底堅さを担保すると期待される。

●近年、工作機械に搬送装置、検査機器、ソフトウェアなどを組み合わせた自動化システムの需要が高まっている。特に人件費が高騰している欧米を中心にこの傾向が強い。自動化システムには、多品種生産や中量産などにも対応できるフレキシビリティの高さが求められるケースも多く、日本やドイツなど工作機械先進国のメーカーに引き合いが集まる。しかし、工作機械メーカーにとっては売上高に占める購入品の比率が高まるため、手離れが悪くなるわりに利益率が低下しやすくなるなどの問題もある。

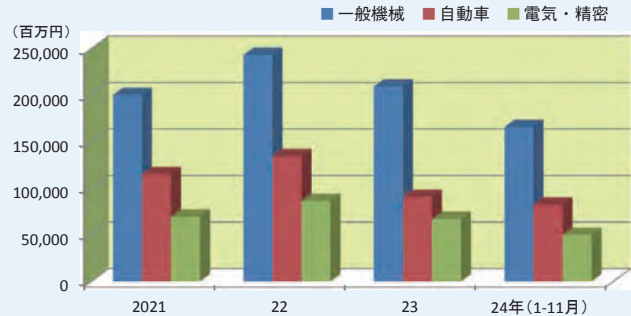
[日本工作機械工業会統計]

(単位: 百万円、カッコ内は前年比増減率%)

◆暦年	2021年	2022年	2023年
受注総額	1,541,419 (+70.9)	1,759,601 (+14.2)	1,486,519 (-15.5)
内 需	510,324 (+57.3)	603,231 (+18.2)	476,821 (-21.0)
外 需	1,031,095 (+78.6)	1,156,370 (+12.1)	1,009,698 (-12.7)

◆暦年	2024年	2025年予想
受注総額	1,460,000 (-1.8)	1,700,000 (+16.4)
内 需	440,000 (-7.7)	550,000 (+25.0)
外 需	1,020,000 (+1.0)	1,150,000 (+12.7)

■内需の需要産業別受注額推移



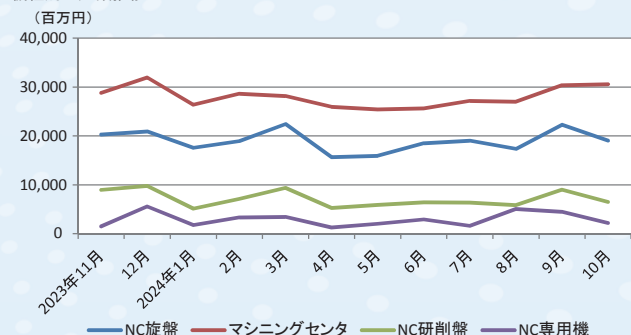
[経済産業省機械統計]

(単位: 百万円・台、カッコ内は前年比増減率%)

◆暦年	2021年	2022年	2023年
金 額	895,409 (+23.7)	1,078,833 (+20.5)	1,051,791 (-2.5)
台 数	67,601 (+48.3)	70,004 (+3.6)	58,832 (-16.0)
・単価	13.2 (-17.0)	15.4 (+16.7)	17.9 (+16.2)

◆暦年	2024年	2025年予想
金 額	900,000 (-14.4)	1,050,000 (+16.7)
台 数	50,000 (-15.0)	60,000 (+20.0)
・単価	18.0 (+0.6)	17.5 (-2.8)

■機種別生産額推移



3. 輸 出

●昨2024年の輸出額は前年比10.9%減の7400億円となった。工作機械市場は全世界的に足踏み感があるものの、円安が追い風となり、日系メーカーの受注環境は底堅かった。ただし、ドルベースで見ると外需の月次受注額はこの2年ほど5億ドル～6億ドルと不況期並みのレンジを行き来している。全体に、大手企業や政府系の投資は堅調だが、中堅中小企業による投資が弱含みであった。バッテリー式電気自動車(BEV)は設備投資に積極的なメーカー数が絞られ、設備投資の総量には一服感が出た。半導体関連産業は、人工知能(AI)関連は活況だったものの、ロジック系・メモリ系とも投資が先延ばしされた。

●25年の輸出額は、同14.9%増の8500億円を見込む。世界全体の経済成長は若干のプラスにとどまるが、円安傾向は継続するとみられ、日系メーカーに有利な市場環境は続く。米国では、製造業をはじめとする各種産業の国内回帰が加速すると期待される。中国は不動産不況に端を発する全体経済の落ち込みが激しいものの、政府による経済施策の効果は大きい。インド、ASEAN諸国など新興国市場の勃興や巨大化、先進化も期待できる。

4. 輸 入

●昨2024年の輸入額は前年比9.4%減の800億円となった。国内市場が低迷したのに加え、円安で価格競争力が相対的に低下したのを受け、輸入機市場は4年ぶりにマイナスに転じた。

●輸入機市場の主力機種は旋盤やレーザ加工機、研削盤、マシニングセンタ(MC)など。主力機種は研削盤を除き、軒並み振るわなかった。旋盤やMCは輸入台数と輸入額の両方で前年を下回った。一方、レーザ加工機は比較的安価な機種が中国から大量に輸入されたのを背景に輸入台数は増加したが、輸入額は前年を割った。

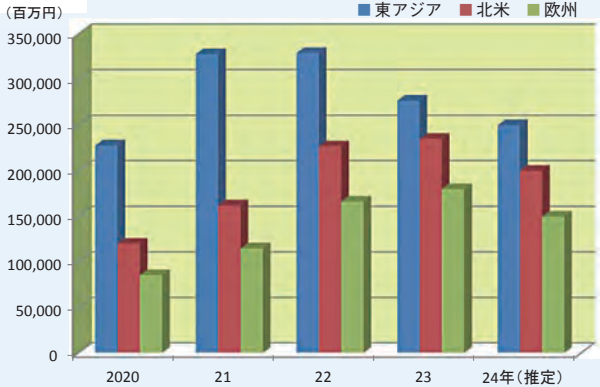
●25年の輸入額は800億円と、前年と同水準に落ち着きそうだ。国内市場は回復基調で推移するが、為替相場は円安傾向が長期化すると予想されるため、輸入機市場にとっては25年も引き続き厳しい環境となる。主力機種の輸入額は前年を下回るか、横ばいにとどまるとみられる。

(財務省貿易統計) (単位:百万円、カッコ内は前年比増減率%)

◆暦年	2021年	2022年	2023年
総金額	712,613 (+34.6)	857,072 (+20.3)	830,389 (-3.1)
・対東アジア	328,040 (+44.0)	329,068 (+0.3)	276,800 (-15.9)
・対北米	162,030 (+35.0)	226,672 (+39.9)	235,084 (+3.7)
・対欧州	114,984 (+34.6)	166,226 (+44.6)	179,972 (+8.3)

◆暦年	2024年	2025年予想
総金額	740,000 (-10.9)	850,000 (+14.9)
・対東アジア	250,000 (-9.7)	280,000 (+12.0)
・対北米	200,000 (-14.9)	230,000 (+15.0)
・対欧州	150,000 (-16.7)	150,000 (+0.0)

■主な市場別輸出額の推移

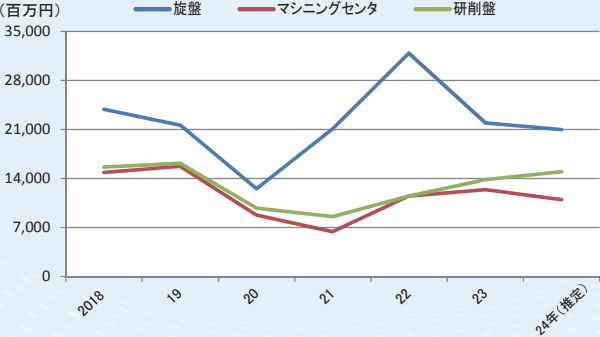


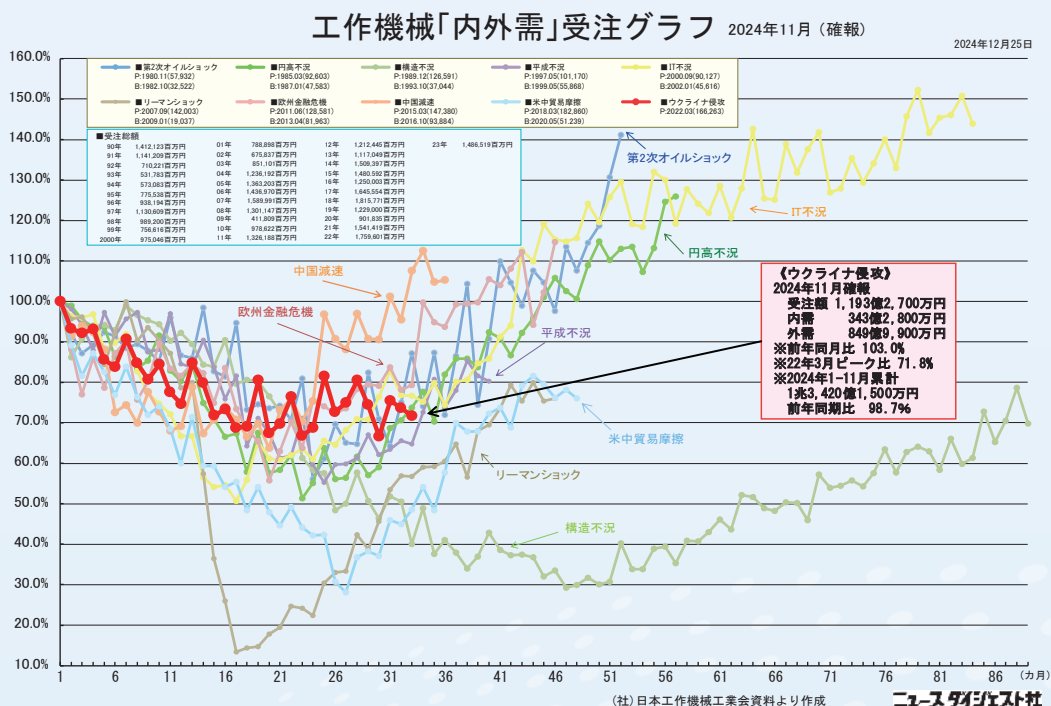
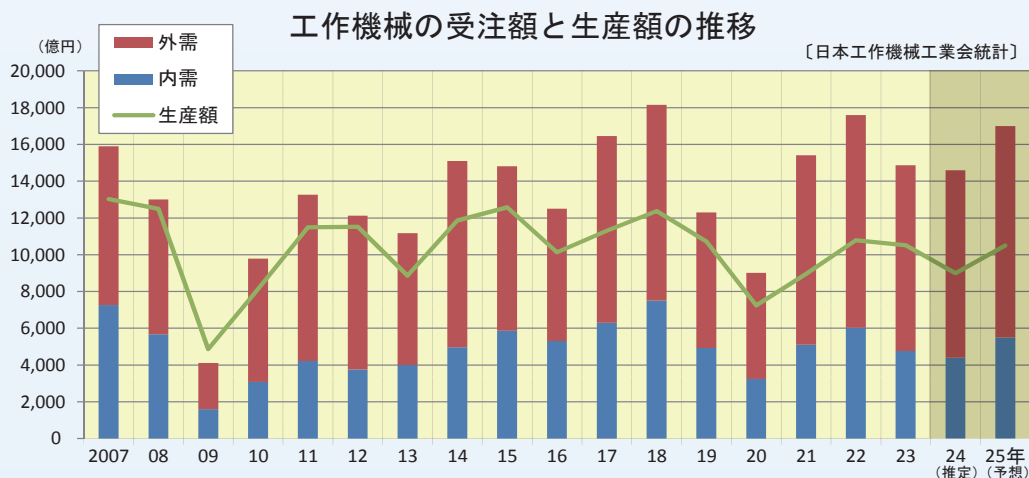
(財務省貿易統計) (単位:百万円、カッコ内は前年比増減率%)

◆暦年	2021年	2022年	2023年
総金額	72,704 (+6.0)	87,282 (+20.1)	88,258 (+1.1)
・旋盤	21,119 (+68.4)	31,900 (+51.0)	21,964 (-31.1)
・MC	6,415 (-26.9)	11,508 (+79.4)	12,431 (+8.0)
・研削盤	8,565 (-12.5)	11,510 (+34.4)	13,835 (+20.2)

◆暦年	2024年	2025年予想
総金額	80,000 (-9.4)	80,000 (+0.0)
・旋盤	21,000 (-4.4)	20,000 (-4.8)
・MC	11,000 (-11.5)	11,000 (+0.0)
・研削盤	15,000 (+8.4)	14,000 (-6.7)

■機種別輸入額推移

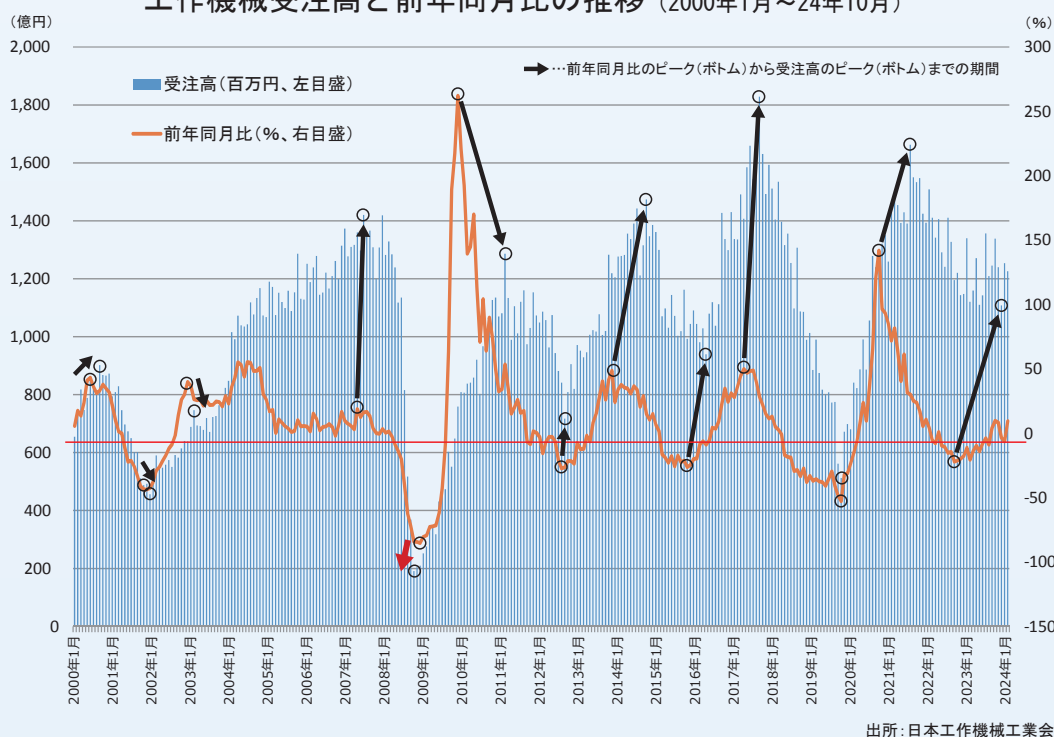




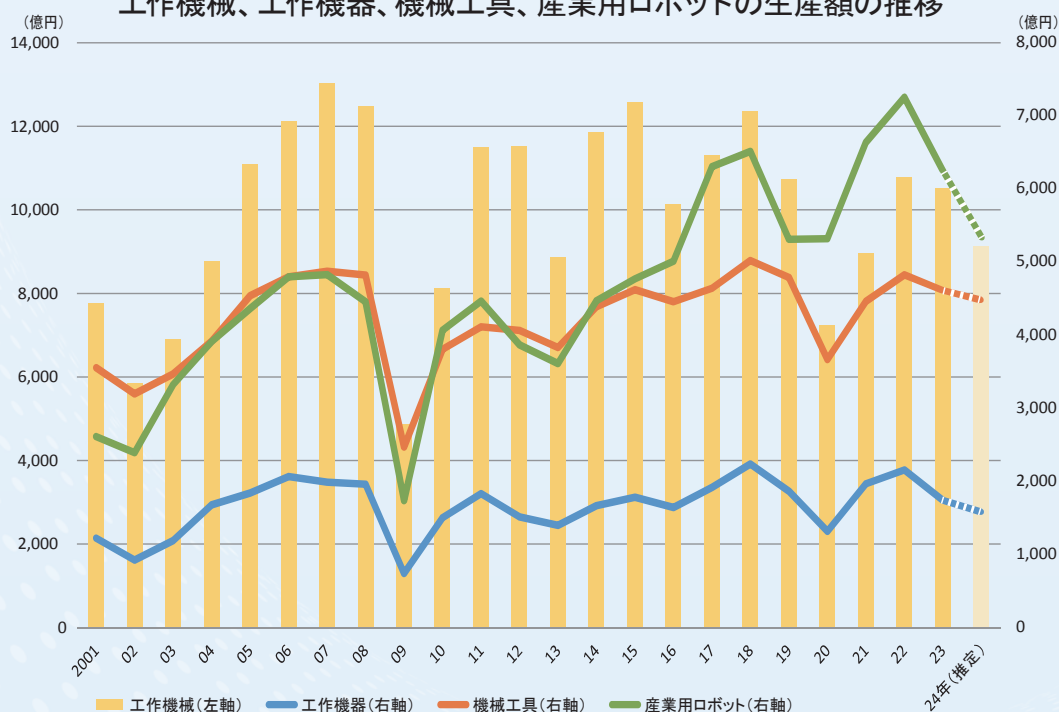
●グラフ(下)の見方: 景気の頂点にあたる四半期の受注額を100の指数で表し、その後の景気後退と回復(谷と山)の期間と高低を示した

【グラフ説明】	頂点P	底点B	底点/頂点	P⇒B期間	B⇒次P期間
①第2次オイルショック不況	80年11月 (57,932)	82年10月 (32,522)	56.1%	24ヵ月間	18ヵ月間
②円高不況	85年03月 (92,603)	87年01月 (47,583)	51.4%	21ヵ月間	22ヵ月間
③構造不況	89年12月 (126,591)	93年10月 (37,044)	29.3%	42ヵ月間	43ヵ月間
④平成不況	97年05月 (101,170)	99年05月 (55,868)	52.2%	23ヵ月間	16ヵ月間
⑤IT不況	00年09月 (90,127)	02年01月 (45,616)	50.6%	14ヵ月間	55ヵ月間
⑥リーマンショック	07年09月 (142,003)	09年01月 (19,037)	13.4%	16ヵ月間	29ヵ月間
⑦欧州金融危機	11年06月 (128,581)	13年04月 (81,963)	63.7%	22ヵ月間	23ヵ月間
⑧中国減速	15年03月 (147,380)	16年10月 (93,884)	63.7%	20ヵ月間	17ヵ月間
⑨米中貿易摩擦	18年03月 (182,860)	20年05月 (51,239)	28.0%	26ヵ月間	22ヵ月間
⑩ウクライナ侵襲	22年03月 (166,263)				

工作機械受注高と前年同月比の推移（2000年1月～24年10月）



工作機械、工作機器、機械工具、産業用ロボットの生産額の推移



ツーリングによる高能率化加工



大昭和精機株式会社
取締役
技術本部 本部長補佐
川 村 真 巳

製造現場における省人化への対応は、ロボットを活用した自動化や、5軸・複合加工機を使用した工程集約が主流となっています。

そして実際の加工現場では、より加工効率を上げる工具が必要とされています。

今回は、ツーリングメーカーがご提案する「加工効率を上げるツーリング」をご紹介します。

① MW ボーリングヘッド

2枚刃の小径荒加工ボーリングツールで汎用性の高いφ20シャンクを採用しました。

ボーリング加工では下穴加工後荒ボーリング加工を入れる事で、真円度と真直度が上がり精度の良い仕上げボーリング加工が行えます。また、小径荒ボーリング加工において問題となる切りくず処理に対しては排出性を高める為にスパイラル溝を付け、さらにセンタースルークーラントに対応し、止まり穴用・貫通穴用にそれぞれクーラント吐出方式の切替が出来ます。



止まり穴



貫通穴



加工径φ16～φ21
有効加工深さ45～60

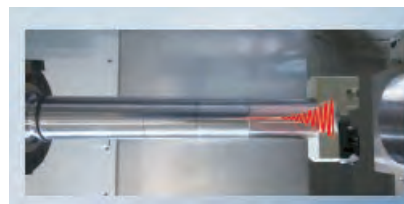
*令和6年度発明協会近畿地方発明表彰発明奨励賞受賞商品

② スマートダンパー大径ボーリングシステム

軽量アルミニウムスライドを採用し、防振機構内蔵のスマートダンパーと融合させる事で大径深穴ボーリング加工を実現しました。

ヘッド・カートリッジの交換で荒加工・仕上げ加工両方に対応します。

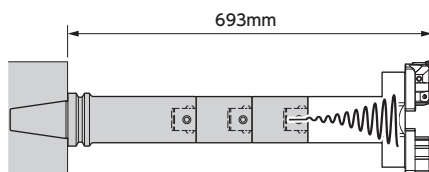
大型ワークへの大径ボーリングには加工長以上に突き出し長さも必要となります。スマートダンパーを内蔵する事で長さによるビビリ発生を抑え安定した加工が行えます。



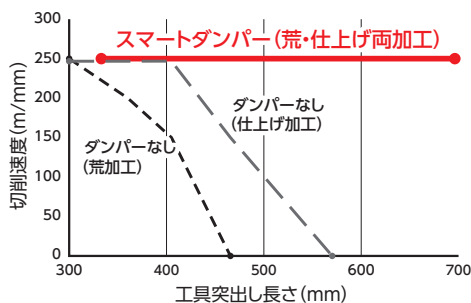
加工径φ 200 ~ φ 340

防振機構の有無による比較検証

約700mmの突出しでも、荒・仕上げ加工を問題なく行えた。



- 荒加工 (S50C)
送り量：0.4mm/rev 切込み量：10mm/φ
- 仕上げ加工 (S50C)
送り量：0.16mm/rev 切込み量：0.2mm/φ



荒用



仕上げ用

(JIMTOF2024 にて発表)

③ SWS 荒用ボーリングヘッド

従来のSWヘッドに2枚刃カートリッジが連動して動くシンクロセッター搭載のSWSヘッドをラインナップしました。シンクロセッターにより2枚刃のカートリッジが連動する為、簡易測定器（マイクロメータ等）でも加工径の調整が可能でプリセッターが無い場合や簡易的な径調整に便利です。

2枚のカートリッジが径調整時連動する事で径調整時間（段取り時間）を短縮する事が出来ます。



加工径 $\phi 41 \sim \phi 110$
(JIMTOF2024 にて発表)

④ アングルヘッド センターズルタイプ

5軸・複合加工機や縦型横型マシニングセンターでの工程集約にアングルヘッドの採用が多くなっています。機械スピンドルからのクーラント供給に対応する事で、長年の課題であったアングルヘッドの加工時における刃先給油を実現しました。

大型ワークや航空機部品等の加工に多く使われているアングルヘッドですが、刃先給油をする事で、刃先の冷却効果・切りくずの排出効果が向上し加工条件を上げる事が出来ます。

また、刃物寿命の向上も期待出来ます。

ドリル加工における事例

切りくず排出、刃先冷却の効果により、加工条件を向上させることができた。



アングルヘッド	BBT50-TAG90/AGH35-230S	
アダプタ	AG35-ONBS20HP	AG35-OSL20HP
工具	$\phi 10$ 超硬ソリッドドリル	$\phi 17$ 刃先交換式ドリル
被削材	SUS304	S50C
加工深さ	50 mm (5D)	50 mm (3D)
切削速度	80 m/min	120 m/min
一回転当たりの送り量	0.2 mm/rev	0.1 mm/rev
回転速度	2,546 min ⁻¹	2,247 min ⁻¹
テーブル送り	509 mm/min	225 mm/min
クーラント	刃先給油 7 MPa	刃先給油 5 MPa

クーラント圧 MAX 7MPa
(JIMTOF2024 にて発表)

高精度微細加工 縦型マシニングセンタ YMC650



安田工業株式会社
国内営業部
部長

高 橋 章

はじめに

技術革新がますます加速する中、加工精度への要求は日々高まっています。

今回は、そうした市場のニーズに応える当社の高精度微細加工機「YMC650」をご紹介します。

1. 基本構成

リニアモーターを各軸の駆動源とし、高精度高剛性リニアガイドを組み合わせました。

ストロークはX軸600mm、Y軸500mmで当社のリニアモーター駆動機では最大です。

主軸は HSK-E32 40,000回転で、高剛性仕様の HSK-E40 35,000回転仕様も準備し、幅広い加工領域に対応します。



2. 高精度の造り込み

当社の伝統技術であるキサゲによる造り込みで、高い真直度と直角度を実現しています。

さらに、この精度を環境温度の影響から守るため、独自の機体温度制御装置を搭載しています。

この装置は、各部に $\pm 0.2^{\circ}\text{C}$ で温度制御された熱交換液を循環させることで、工場内の温度変化や機械の自己発熱による熱変形を最小限に抑えます。

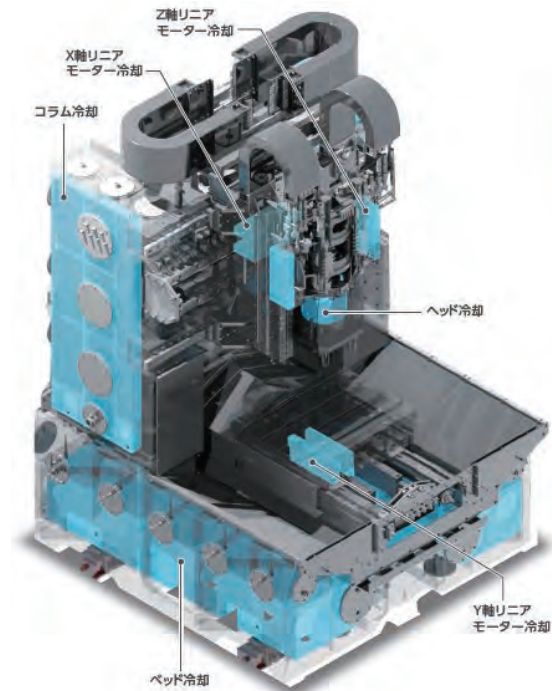
3. 自動化対応

近年高まる、自動化への要求にも対応しています。

ワークチェンジロボットは各社のシステムに対応可能です。ATCは最大90本まで、フロアスペースを拡張することなく増設できます。

また、加工継続の可否判定に必要な工具計測では、長さや径だけでなく形状の測定も可能です。

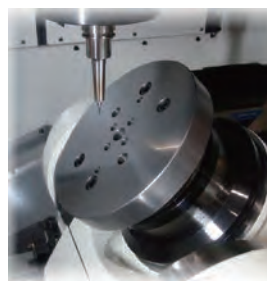
さらに、加工物の加工精度は机上計測で測定でき、その結果をサーバー経由で外部から確認することも可能です。



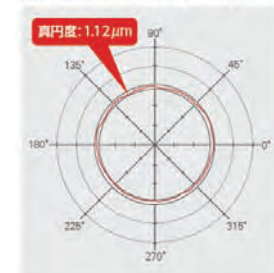
4. 5 軸加工への対応

安田製の DD モーター駆動傾斜円テーブル「RT20」を組み込むことで、 $\phi 330\text{mm}$ までの高精度な5軸加工に対応可能です。

同時5軸加工による傾斜円錐加工では、真円度 $1.12\ \mu\text{m}$ という高い精度を実現しています。



傾斜円錐加工真円度チャート



5. 誰が加工しても高精度

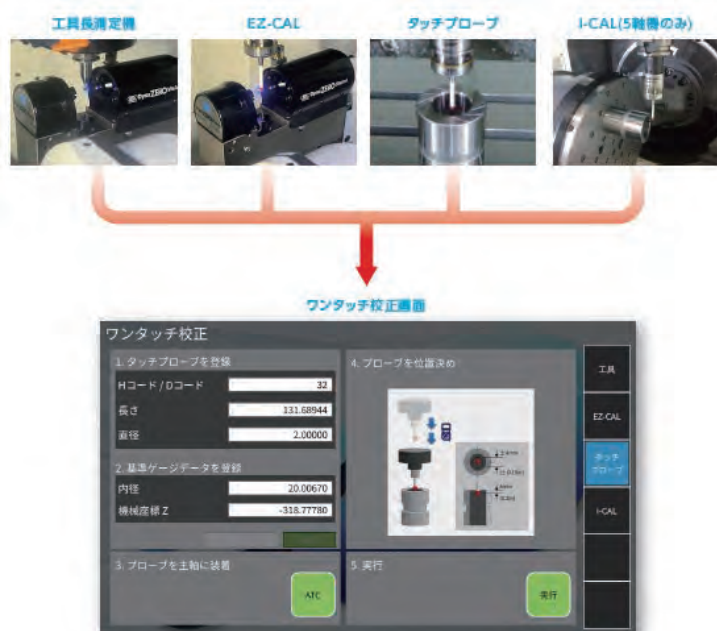
人材不足は製造業においても深刻な課題となっています。

当社では、高精度な加工を熟練者のノウハウに頼らず、誰が操作しても同様の精度を実現できる機械を目指しています。

MC 加工で特にノウハウが求められるのは、Z 方向の寸法精度です。この精度を確保するには、機械に装備された工具測定器や自動計測装置と、機械原点の相関関係が正確に校正されていることが必要です。従来は、ブロックゲージやダイヤルゲージを用いて、ベテラン作業者が細心の注意を払いながら測定と

校正を行っていました。

YMC650 では、これらの操作をスマートフォンのような直感的な画面操作とガイダンス機能により、誰でも簡単かつ正確に校正できる仕組みを備えています。また、主軸変位の安定を自動で判定する機能や、傾斜軸・回転軸中心の正確な自動設定機能を搭載し、これまで経験や勘に頼っていた補正作業を簡略化しました。



6. 複合加工への対応

リニアモーター駆動により、研削加工に必要な Z 軸の往復運動(チョッピングサイクル)に対応しました。

研削砥石を使用した加工により、エンドミル加工では困難な面粗度や形状精度、また深い立壁部分での高い直角度を実現できます。



7. おわりに

当社では、「YASDA だからできる自動化」と「誰が加工しても高精度」をテーマに掲げ、さまざまな課題解決を支援しています。

これにより、お客様がより付加価値の高い業務に取り組める環境を提供いたします。



工作機械と私



株式会社マックマシンツール
営業部

平 石 優 希

2023年3月に工作機械専門商社である当社に、中途入社しました。

金額が大きい商材なので、お客様から強い信頼を得て初めて受注できるという商売に魅力を感じ、挑戦してみたいと思った事がきっかけです。自分が販売した機械をユーザー様に使っていただき、世の中に出回るあらゆる商品の一部に使われているという社会貢献ができる、やりがい大きい仕事だと思います。

前職の経験などから機械メーカーの名前を数社は知っていましたが、どのメーカーがどんな機械を作っているかも分かっていないレベルでした。先輩社員と同行し、お客様と機械の打合せをした時に、X軸や何ミクロン、スピンドルの回転数の話など当時の私には何を言っているのか全く分からない会話が多く、戸惑う日々が続きました。それでも定期的に色んなメーカーの方が当社で勉強会をして下さったり、工場へお伺いし、それぞれの特徴を教えていただくことで、徐々に知識を増やす事ができました。工場見学では、どのようにして工作機械が作られていくのかを目の当たりにし、興奮したのを鮮明に覚えています。キサゲ体験では、自分のセンスの無さにビックリされました。

私が営業で心がけている事があります。それは「お客様とのギャップを埋める」事です。

服屋さんでは、試着していただくと購入率が上がるというデータがあるそうです。服屋さんにも季節毎に推している商品や売上目標があるため、積極的に話しかけ試着をしてもらおうと営業をするのですが、店員さんに話しかけられると「あ、大丈夫です・・・。」と私は店を離れてしまいます。おそらくこのような人は読者の方の中にもいらっしゃるのではないのでしょうか。

回りくどい例を挙げましたが、お客様が何を求めているかを理解していない、つまりサービスを提供する側の情報不足＝ギャップによりお客様は離れて行ってしまうのだと考えています。コミュニケーションを取り、お客様の望むことを聞き出す事が、製品販売の第一歩だと感じています。

まだまだ工作機械の知識に乏しい私は、商品の提案力や説得力は低いですが自社が推している製品を売りに行くのではなく、お客様の要件にあったサービスを提案する、そしてお客様を理解し、貢献したいという姿勢を見せたいと思っています。

入社から1年3ヶ月、半分独り立ちした私に転機が訪れました。とあるお客様の現場に入らせていただいた時に、作業者の方から「今度うちに新しい旋盤の導入を考えている」というお話をいただきました。既に競合商社は仕様の打合せまで進んでいるとの事です。

しかし話を聞いてみると、作業者としてはこれまでずっと使っているM製が使いやすいという気持ちを持っている反面、経営者サイドはO製を検討していたのです。すかさず作業者の話をまとめ、M製の良さを知ってもらうべく経営者サイドの方と作業者の方々をM社の工場へお連れし競合との接戦に勝利する事ができました。

これが記念すべき初めての工作機械の受注となり、一生忘れる事はありません。

これからも工作機械の知識を広げていくと共に、お客様との関係を密に営業活動をしていこうと思います。様々な製品を作るお客様、様々な価値観を持つ人、色んな人へ要望に沿った素晴らしい工作機械を提案していく事が当面の目標です。まだまだ未熟な私ですので、お会いする機会があれば機械の知識や営業方法などご教授いただけると嬉しいです。この場をお借りし、当社に関わるメーカー様やお客様、最後までお読みいただいた皆様に感謝申し上げます。

会社生活に 於ける 私の初〇〇



株式会社ヤマモリ
神奈川営業所 所長

小島 一志

初めての転勤

皆様初めまして、株式会社ヤマモリの小島と申します。

この度、日工販 NEWS の「会社生活における私の初〇〇」というテーマにて寄稿のご依頼を受け、色々といこれまでの会社生活について振り返り、「初の転勤」についてお話しさせていただきます。

営業をされている方であれば転勤というのは会社生活の中で避けては通れないものかと思われそうですが、2001年に株式会社ヤマモリへ入社して以来、東京本社から他営業所等への異動は1度もなく、約22年もの間、同じ場所に居続けるという恵まれた環境下におりました。

まず、入社初年度は知識向上の為、倉庫に入ってピッキング作業や出荷作業に没頭し、翌年の決算後より、同じ本社内にある東京営業所へ配属となり、1年ほど内勤業務を担当しました。その後、外勤営業へととなり、約20年が経過しましたが、その間の担当地域は東京23区内が中心であり、ピンチヒッターで三多摩地区を担当したこともありましたが、最終的には、自宅のある千葉県と茨城県の一部を担当することになり、これで漸く自分自身の念願である地元を据えて営業活動が出来るようになり、その後も順調に営業活動が出来ておりました。

ところが翌年の8月末頃に、営業本部長より呼び出されて、転勤の話を持ち出されました。正直なところ、どこに転勤となるかは全く予測が付いておらず、不安ばかりが沸き上がりましたが、言われた転勤先は神奈川営業所でした。当時の神奈川営業所と言えば、社内売上シェアで常に上位3番手以内に入り、また営業実績 No.1 を誇る営業所長が在籍しており、その所長も東京への転勤との事で単に営業責任者の入替となる為、後任者として相当なプレッシャーがかかる状況ではありましたが、単身赴任での転勤を決断し、正式に転勤することになりました。

転勤が決まってからの2か月間は、当社決算が被っていたこともあり、かなりドタバタしてしまいました。が、何とか期限内に神奈川営業所へ着任する事ができました。

新たな職場へは、転勤前に何度か下見したりはして雰囲気は感じておりましたが、初出勤して挨拶を終えて仕事に取り掛かってみると、東京本社とはまるで勝手が違う為、暫くは仕事が進みませんでした。これまでと基本的な仕事は同じなはずなのに、隣の営業所へ異動したぐらいでここまで順応できないのかと悩みましたが、これまで良くも悪くもこの会社で20年以上も仕事をしてこれたので、ここは冷静に一つひとつやるべきことから手を付けてみようと思い、また所員とのコミュニケーションを積極的に取る事で、早い段階で神奈川営業所の特徴を捉えることができ、何とか対応出来るようになったかと思えます。

転勤をしてみて思う事としては、やはり同じ場所で何十年もいると、同じ会社内でも営業所や部署が違えば経験したことが無い、分からないことに気づくことができ、また自分自身が成長できる素晴らしい機会になり得ることであると感じました。

様々な状況があるかとは思いますが、皆様のなかで、転勤の話があった際には、想像を豊かに自分自身の将来をよく考え、前向きにとらえてみては如何でしょうか。この経験は私にとって大きな「財産」です。

私の好きなお店

宮脇機械プラント株式会社
取締役専務執行役員

一 森 政 宏

日工販 NEWS 読者の皆様初めまして、私は兵庫県明石市に本社がある宮脇機械プラント株式会社の一森と申します。

さて兵庫県と言えば斎藤知事 明石市と言えば泉元明石市長 政治の面でおさがわせしております。兵庫県明石市で美味しいものと言われると一番が明石焼き（関西風だしで食べるたこ焼き）明石だこ・明石鯛 等。理由は淡路島と明石の間が狭い海峡でとれる魚は身が引き締まり美味しいと評価が高いのです。

前置きが長くなりました。「私の好きなお店」というお題を頂き一番最初に浮かんだのがこのお店、くおん寿司（久遠）です。当社から徒歩10分ほど住宅街の中にお店があります。当社創業者 宮脇会長と昼食前の散歩時、店が開店しているのに気が付きました。暖簾をくぐり中に入ると モダンな内装カウンター7席とテーブル1つのみシンプルな店内 聞けばカウンターで一品ずつ握りたてを出すのがお店のコンセプトだそうです。大将は40代半ば美人の奥様と二人でしておられ居心地の良いお店です。お昼のメニューは3,000円のお任せコースのみ 寿司懐石風に食べる速度を見ながら出して頂けます。飽きられないように時期に合わせた食材を使い、寿司ネタも近海でとれたものから大間のマグロまで。この記事を書きながら行きたくなりました。

読者の皆様 明石近辺にお越し時 是非 是非お寄りください。



外観



大将



鮓くおん

兵庫県明石市王子一丁目13-12
TEL: 078-927-0235
HP: <https://akashi-kuon.com/>



「盲導犬クイールの一生」

著者：石黒謙吾・秋元良平

(出版：文藝春秋)

この本が以前にドラマ化したことがあることを知り、一度、原作も読んでみたいと思い、この本を読むことに決めました。主人公のクイールは、小さいころから盲導犬になるために、いろいろな訓練を受けて、目の不自由な人を支える役目を果たした犬です。歩く途中の障害物をよけたり、段差や信号で危険を知らせるために直前できちんと止まったり、私は、盲導犬はとてもかしこいのだなと思いました。私は今まで、盲導犬の訓練はとても厳しくて、さらに、犬がいやがっていることを無理矢理にやらせるなんて、とてもかわいそうだと思っていました。しかし、この本を読んで、犬は、人のために働いたりパートナーの言うことを守ったりすることが楽しいということを知り、ホッと安心しました。



盲導犬がそばにいてくれるということは目の不自由な人にとってとても心強い存在で、とても安心できるのだと思います。盲導犬は大切な目のかわりなのだなと思いました。また信頼できるパートナーであるということも知ることができました。本の中では、クイールがパートナーになったことで、渡辺さんはすごく元気になり、いつも二人で歩いていたそうです。クイールは渡辺さんと支えあう、なくてはならない友達となったのです。渡辺さんがクイールを必要にしているようにクイールも渡辺さんを信頼しているのだなと思いました。

私は、小学一年生の時、友達と鉄棒で遊んでいて頭をぶつけてしまい、三センチ位切ってしまいました。血が出ていることが怖くてとても不安だったのですが、一緒に遊んでいた友達が、何度も私に声をかけながら、先生のいるところまで連れて行ってくれました。その後も、友達は私に何度も声をかけ、心配してくれていました。すごく優しい気持ちが伝わってきて、少し元気になりました。渡辺さんも私と同じ気持ちだったのかなと思いました。また、弟が入院した時に、今度は、私が弟に「早く元気になってね」と手紙を書きました。弟は、その時何も言わなかったけど、後に弟が作文に「手紙をもらってうれしくて、早く退院したい」と書いていました。弟も、手紙に励まされたし、私も弟に気持ちが伝わっていることがわかり、とてもうれしい気持ちになりました。

この本を読んで、ともに支えあえる事の大切さを知りました。互いに支えあうということは生きる勇気や力を分け合うことだと思います。不可能と思ったことが助け合いで可能になったり、お互い思いあうことで不安がなくなり幸せな気持ちになったりします。今後、私自身もたくさんの人に支えてもらうことができるでしょう。たくさんの人に支えられて成長していく中で、私も誰かを支えることができたらいいなと思いました。困っている人がいたら、優しく声をかけて支えあいしたいです。



日本産商株式会社
国内営業部 第2課
次長

高橋卓見

感動した

スポーツの

名場面



「体力と瞬発力」



米沢工機株式会社
宇都宮支店
支店長

谷田 貝 太 一

近年、日本国内におけるバドミントンの競技人口やバドミントンを楽しむ方が増加しています。総務省の調査によれば、どの範囲までを人数に含めるかで数字が違ってきますが、公式試合に参加せず楽しんでいる人たちも含めるとバドミントンの競技人口数は約800万人と言われているようです。800万人という人口数はサッカーやテニスなどメジャースポーツに劣らない数字になっており、身近になったスポーツと言えるでしょう。

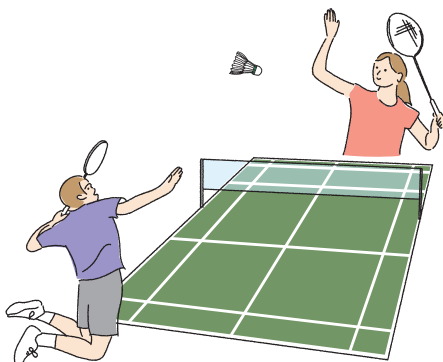
その背景にあるのが日本選手の活躍です。活躍した日本人選手とは？と聞かれて多くの方が思い浮かべるのが、「オグシオ」ペアでしょうか。「オグシオ」は、2008年北京オリンピックでベスト8となった小椋久美子選手・潮田玲子選手のペアです。この辺りからメディアにも多くとりあげられる機会が増え、マイナースポーツからメジャースポーツへ印象が変わってきたと思います。

パリオリンピックで言えば、渡辺勇大選手と東野有紗選手の「ワタガシ」ペア、男子シングルでは桃田賢斗選手など、多くの選手が世界で活躍されています。

バドミントンというスポーツは相手とのラリーの末に点数が入るスポーツであり、長いラリーになると心身ともに負荷の掛かるスポーツです。シャトル（羽）が風に影響されないために夏場も暗幕を引き、体育館の中は蒸し風呂状態、非常に体力と瞬発力が試されるスポーツです。

感動する名場面を一言でというのも難しく、ラリーを制したプロセスがあり、結果勝敗が決まります。特にペア（ダブルス）での勝利は喜びを分かち合い、抱き合うシーンが見られます。勝負に敗れてしまってもお互い励ますシーンには感動します。

進化が止まず、変化のスピードが速い昨今の製造業に対し、我々中小の商社は体力と瞬発力が試される時代になってきていると思います。業界の金メダルを取れるように励んでいきます。





私の 健康法



吉川鐵工株式会社
品質保証部
部長

錦 博 幸

私の健康維持・増進への取り組みについて

近年、健康維持・増進の重要性がますます高まっています。私が日々の生活の中で取り組んでいる健康習慣をご紹介しますことで、少しでも多くの方の参考になれば幸いと考えています。

1. 階段の利用を習慣化

日常生活の中で運動量を確保するために、ビルの昇降時にはできるだけ階段を利用するよう心がけています。エレベーターやエスカレーターの利用は便利ですが、階段を使うことで自然に運動の機会を増やすことができます。特に、階段を上る動作は下半身の筋力強化や心肺機能の向上に効果的であり、短時間でも運動効果を得られるため、忙しい日常の中でも手軽に実践できる健康習慣と考え実践しています。

2. 1 駅分の歩行で運動不足を解消

電車を利用する際、目的地までの1駅分を歩くことを習慣にしています。歩行は最も手軽にできる有酸素運動の一つであり、血流の促進や心肺機能の向上、ストレスの軽減にもつながります。また、日々の歩行量を増やすことで、生活習慣病の予防にも寄与します。特に都市部では、駅間の距離が適度であるため、無理なく継続しやすい方法と考え実践しています。

3. 食事量の調整でバランスを意識

健康的な生活を送るためには、運動だけでなく食生活にも注意を払うことが大切です。食べ過ぎたと感じた場合、次の食事の量を調整するようにしています。これは、体重管理だけでなく、消化器官への負担を軽減し、適正なエネルギーバランスを維持するためにも重要です。また、栄養バランスを考えながら食事を摂ることで、体調の維持や免疫力の向上にもつながる考え実践しています。

まとめ

健康維持・増進のためには、特別な運動や厳格な食事制限を設けるのではなく、日常生活の中で無理なく実践できる習慣を取り入れることが大切と感じています。今後も、階段の利用、歩行の習慣化、食事の調整といった小さな取り組みを継続することで、1年でも長く健康寿命を延ばし、より充実した日々を送ることを心がけたいと考えています。

りレー随筆



ユアサ商事株式会社
機械エンジニアリング本部
中部工業機械部

水谷 祐介



皆様、はじめまして。ユアサ商事株式会社 機械エンジニアリング本部 中部工業機械部に所属しております、水谷 祐介と申します。この度、黒田精工株式会社の又様より伝統ある「りレー随筆」のバトンをお受けし大変嬉しく思います。

本投稿の依頼を受けた際、皆様は何をお伝えしようかと考えました。せっかくの貴重な機会ですので、自身を知っていただくためにも自己紹介をさせていただき、私の経歴と趣味についてご紹介できればと思います。

私は大阪市東淀川区生まれで、小中学校は大阪府豊中市、高校は京都府宇治市、大学は京都市で過ごしました。高校からは寮に入っていたため、親離れは早かったほうだと思います。

小学校から大学までの計13年間野球を続け、母校が甲子園に出場すると自分のことのように嬉しく、試合の日にはテレビに釘付けです。

今年で社会人4年目になります。中部支社への配属が決まり人生で初めて関西を出ることになり、最初は戸惑いながらの生活でしたが、ようやく慣れてきました。

名古屋は味噌カツやあんかけスパゲティなどの特徴的な食べ物がたくさんありますが、お気に入りの名古屋名物は「味噌煮込みうどん」です。関西では赤みそ文化ではないためなかなかお目にかかれませんが、名古屋のうどん屋さんには必ずと言っていいほどラインナップされています。土鍋に入った熱々のうどんは絶品で、うどん屋さんに行けばかなりの確率で注文してしまいます。

さてここからは私の趣味の「お茶ハイを飲むこと」についてご紹介させていただきます。私は飲食店に行った際、飲んだことのないお茶ハイを積極的に注文しています。お茶は小さな頃から好きで、よく飲んでいた記憶があります。成人後、飲食店に行くとウーロン茶割や緑茶割があり、すぐくテンションが上がりそこから虜になりました。

特に好きなのが「こうばし茶（玄米茶）ハイ」です。名の通り香ばしい香りが特徴のお茶で、一番好きなお茶です。お茶パックが入っていて、自分好みのお茶の濃さを作れるので必ずと言っていいほど注文します。

また珍しいと感じたのは、「そば茶ハイ」です。そばの実を挽いて粉末状にしたものを、お湯で溶かして飲むお茶で、そばの風味を感じる美味しいお茶です。今回寄稿させていただくにあたりそば茶について調べたところ、そば茶はお茶ではありませんでした。私たちよく飲むお茶の緑茶やウーロン茶はチャノキの葉や茎を原材料にした飲み物で、そば茶はチャノキ以外の植物から作られる「茶外茶」に分類されます。大麦が原料の麦茶も茶外茶です。そば茶は美味しいだけでなく、栄養素が満点で健康維持や美容効果にも期待が持てるお茶ですので、皆様に機会がありましたら是非飲んでいただきたいです。東京にはお茶ハイ専門店があるようですので、東京に行った際には足を運んでみたいと思います。

▶ 次号はオークマ株式会社の桃林 宏行 様です。
さわやかな笑顔が持ち味の頼れる営業マンです。



統計資料

工作機械・FA流通動態調査1

統計1

単位) 百万円

		受 注					売 上				
調査月次		2024/12	前月比	前年比	2024/01 ~2024/12	前年度比	2024/12	前月比	前年比	2024/01 ~2024/12	前年度比
広義の 工作機械	工作機械	18,993	4.9%	13.5%	217,797	-18.6%	27,504	52.0%	-6.9%	246,038	-17.0%
	ロボット・自動化機器	1,685	-30.9%	-34.6%	28,577	0.7%	2,976	10.4%	20.3%	31,299	22.2%
	CAD/CAM・自動プログラム	353	-10.7%	-0.1%	4,412	31.4%	522	143.6%	80.7%	3,943	18.8%
	鍛圧・プレス・溶接	1,810	25.2%	135.3%	18,208	-20.5%	3,452	70.7%	-14.8%	21,062	-4.1%
	グライスト・押出・射出	501	-30.7%	-22.8%	6,813	-26.4%	990	77.7%	-13.0%	7,036	-39.1%
小計		23,343	1.0%	10.8%	275,806	-16.8%	35,444	50.3%	-5.4%	309,378	-13.8%
工作機械以外の扱い商品		28,188	-2.9%	-21.1%	371,521	7.8%	37,166	40.3%	5.0%	371,462	-1.3%
合計		51,532	-1.2%	-9.3%	647,327	-4.2%	72,610	45.0%	-0.4%	680,840	-7.4%
従業員数		1,631	-0.2%	1.1%							

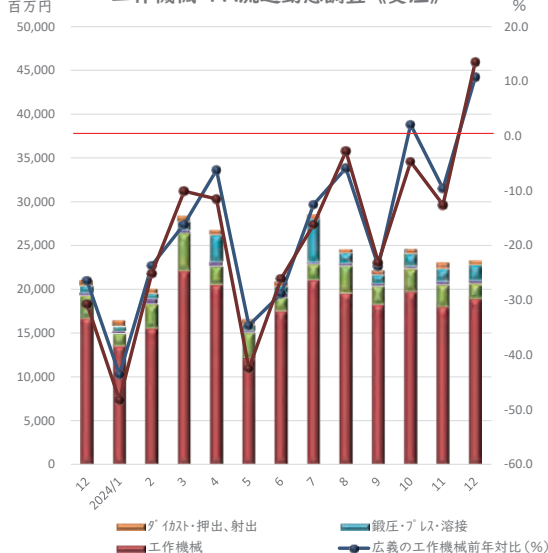
統計2

単位) 百万円

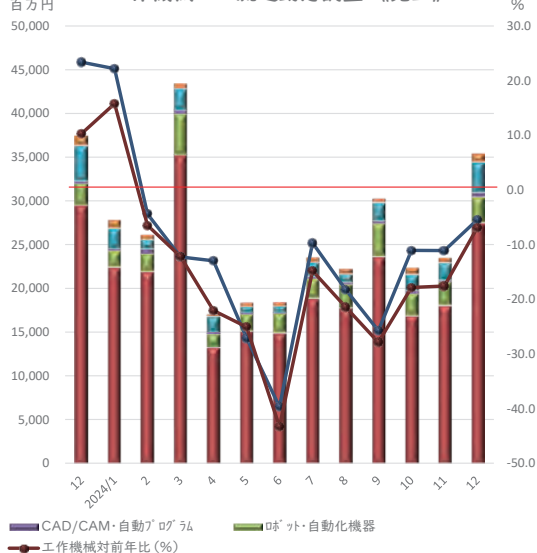
		受 注					売 上				
調査月次		2024/12	前月比	前年比	2024/01 ~2024/12	前年度比	2024/12	前月比	前年比	2024/01 ~2024/12	前年度比
内訳	直販	23,065	0.9%	-27.8%	291,413	0.6%	30,335	32.1%	-0.4%	295,850	2.0%
	(内リース)	618	-7.6%	-2.3%	8,006	5.8%	905	-1.5%	-2.4%	9,080	-13.7%
	卸	6,995	15.5%	26.9%	79,349	-12.7%	12,126	49.9%	19.9%	90,031	-13.0%
	輸入	2,324	-98.0%	-43.0%	150,750	264.0%	3,113	33.4%	-29.2%	32,683	-1.0%
	輸出	10,240	-9.4%	-28.0%	134,215	-13.4%	20,170	152.5%	41.2%	145,188	-24.8%
	(内間接輸出)	1,849	106.1%	-1.9%	18,655	17.0%	1,922	69.5%	58.8%	19,105	-2.6%
従業員数		1,160	0.0%	1.8%							

注：会員80社中、統計1に関しては37社、統計2に関しては28社の回答を得て集計したものである。
折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比であり、データ提供会社総数は40社である。

工作機械・FA流通動態調査《受注》



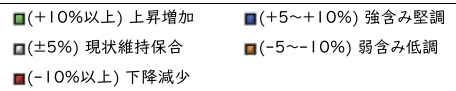
工作機械・FA流通動態調査《売上》



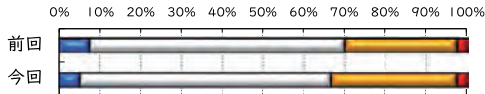
工作機械・FA流通動態調査2

今回2025年1月調査／前回2024年10月調査対比

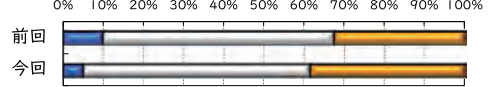
1. 工作機械全体見通し



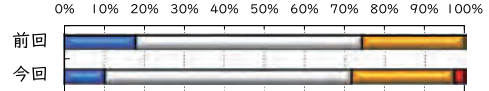
現状に比し直近(1～3ヵ月)は



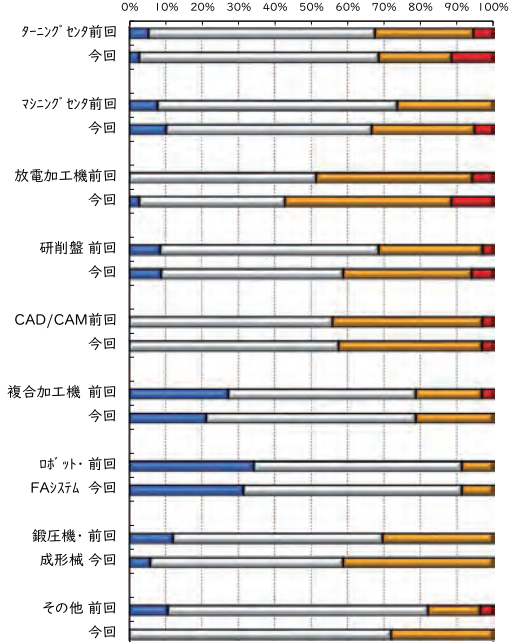
過去半年に比し向後の半年は



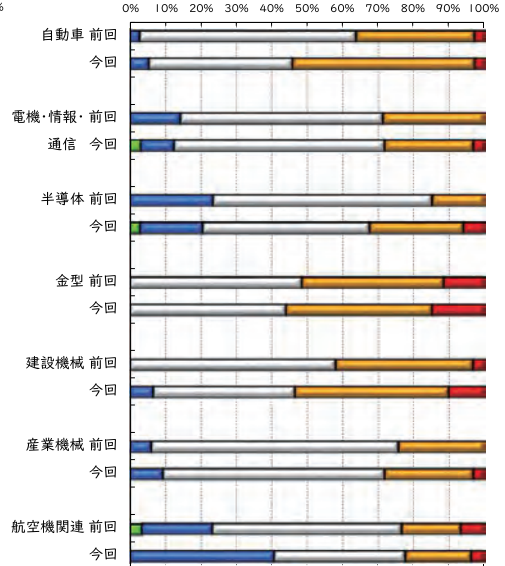
過去1年に比し向後の1年は



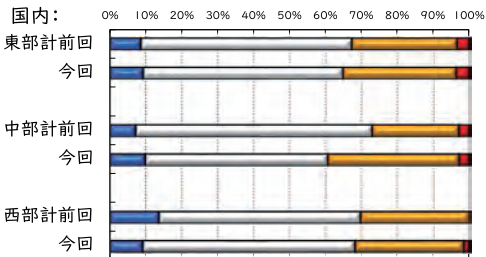
2. 製品別向後約半年の見通し



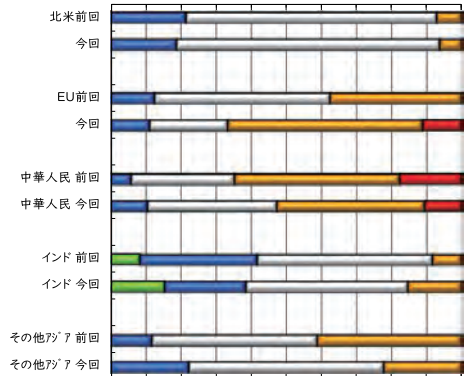
3. 市場別向後約半年の見通し



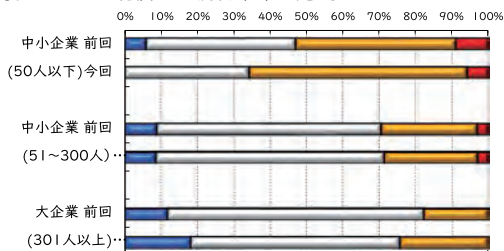
4. 地域別向後約半年の見通し



海外: 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

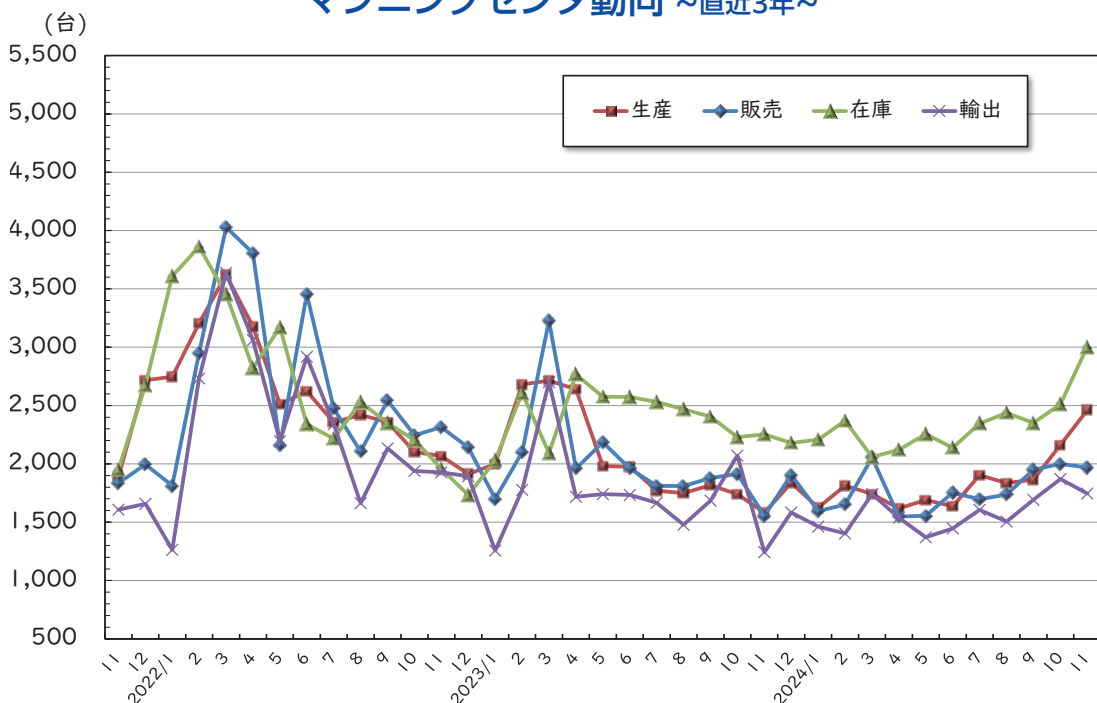


5. ユーザー規模別向後約半年の見通し

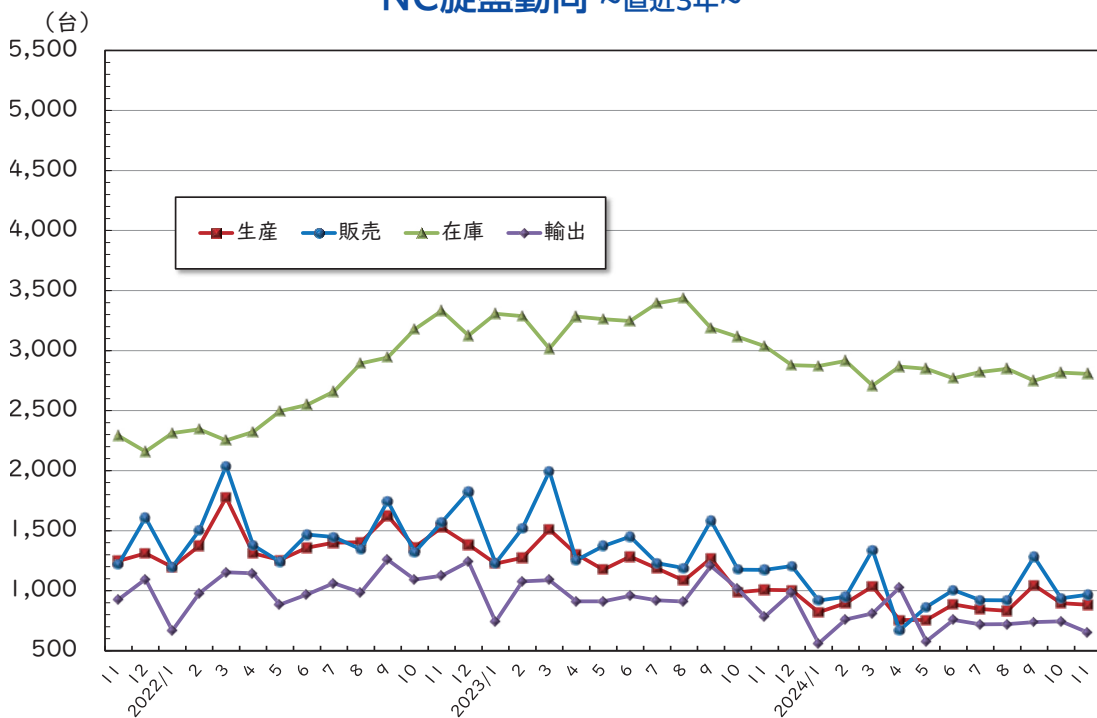


見てわかる 3年間の代表2機種種のトレンド

マシニングセンタ動向 ～直近3年～



NC旋盤動向 ～直近3年～



出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

工作機械業種別受注額(2024年12月)

2025/1/28発表

(単位:百万円・%)

		23年累計	前年比	24/07-24/09 累計	24/10-24/12 累計	前期比	前年同期比	24/01-24/12 累計	前年同期比	12月分	前月比	前年同月比
機械製造業	1.鉄鋼・非鉄金属	16,345	83.1	3,265	4,254	130.3	153.2	15,172	92.8	2,197	133.7	256.7
	2.金属製品	36,813	72.8	10,721	9,411	87.8	134.3	37,200	101.1	3,051	108.1	129.3
	3.一般機械	203,557	83.6	46,676	44,717	95.8	109.0	181,041	88.9	15,074	93.5	106.4
	(うち金型)	28,189	81.8	3,358	3,037	90.4	59.4	15,761	55.9	836	79.6	40.0
	4.自動車	100,588	74.7	20,978	21,034	100.3	80.6	91,025	90.5	8,647	155.5	86.9
	(うち自動車部品)	73,519	79.1	14,600	13,255	90.8	69.6	62,400	84.9	5,256	149.7	67.6
	5.電気機械	36,272	63.7	8,853	7,011	79.2	124.8	31,506	86.9	2,719	127.1	186.4
	6.精密機械	21,430	72.6	4,937	6,103	123.6	105.4	23,227	108.4	2,132	110.8	59.7
	電気・精密計	57,702	66.7	13,790	13,114	95.1	114.9	54,733	94.9	4,851	119.4	96.4
	7.航空機・造船・運送用機械	20,172	107.0	5,364	6,433	119.9	106.7	24,218	120.1	2,902	272.2	108.9
	(うち航空機)	8,509	146.9	2,399	4,106	171.2	156.1	13,183	154.9	1,829	272.6	104.6
	小計	382,019	79.0	86,808	85,298	98.3	100.8	351,017	91.9	31,474	117.4	98.9
その他製造業	8.その他製造業	22,867	87.1	4,234	4,733	111.8	84.4	18,793	82.2	1,813	110.1	100.4
	9.官公需・学校	1,977	89.7	1,119	418	37.4	78.0	2,532	128.1	129	83.2	106.6
	10.その他需要部門	12,165	86.3	2,591	2,738	105.7	99.5	11,917	98.0	904	96.9	111.2
	11.商社・代理店	4,635	67.2	686	840	122.4	63.1	4,907	105.9	355	111.6	74.3
	内需合計	476,821	79.0	109,424	107,692	98.4	103.0	441,538	92.6	39,923	116.3	104.4
	12.外需	1,009,698	87.3	250,648	277,279	110.6	110.7	1,043,571	103.4	103,171	121.4	116.1
	受注累計	1,486,519	84.5	360,072	384,971	106.9	108.4	1,485,109	99.9	143,094	119.9	112.6
	(内NC機)	1,463,024	84.7	354,947	378,755	106.7	108.3	1,461,592	99.9	140,785	119.9	112.3
販売	販売額	1,616,581	103.1	399,490	407,990	102.1	100.6	1,526,187	94.4	168,399	135.2	106.5
	(内NC機)	1,591,253	103.0	393,475	402,999	102.4	100.9	1,503,335	94.5	166,597	135.7	107.4
	受注残高	785,775	87.6	767,716	767,825	100.0	97.7	767,825	97.7	767,825	99.7	97.7
(内NC機)		760,531	87.5	743,032	746,270	100.4	98.1	746,270	98.1	746,270	100.2	98.1

出所 (一社)日本工作機械工業会

2024年小型工作機械・受注高統計表

(1月～12月分)

受注実績		台 数	金 額	輸出台数	輸 出 金 額	比 率
分類		(台)	(千円)	(台)	(千円)	(%)
非NC 小型工作機械	小 型 旋 盤	26	65,115	0	0	0.0
	小 型 自 動 旋 盤	0	0	0	0	0.0
	小 型 フ ラ イ ス 盤	0	0	0	0	0.0
	小 型 研 削 盤	258	1,502,808	24	579,086	38.5
	その他の小型工作機械	819	4,833,420	22	2,056,221	42.5
	小 計	1,103	6,401,343	46	2,635,307	41.2
NC 小型工作機械	N C 小 型 旋 盤	9,556	85,283,289	8,230	72,398,870	84.9
	N C 小 型 フ ラ イ ス 盤	561	4,902,550	522	4,574,350	93.3
	N C 小 型 研 削 盤	191	7,969,435	108	3,777,079	47.4
	小 型 マ シ ニ ン グ セ ン タ	182	4,849,100	49	1,101,509	22.7
	その他のNC小型工作機械	2,373	22,259,660	2,142	19,575,499	87.9
	小 計	12,863	125,264,034	11,051	101,427,307	81.0
付 属 品 ・ ユ ニ ッ ト ・ 部 品			10,871,928		1,569,832	14.4
合 計		13,966	142,537,305	11,097	105,632,446	74.1
(1 か 月 平 均)		1,164	11,878,109	925	8,802,704	74.1

出所：日本精密機械工業会

日工販 NEWS 表紙写真の公募について

日工販事務局からのお知らせです。

日工販 NEWS を楽しく、また手に取っていただきやすい機関誌にしたいという思いから、表紙にその季節折々の写真を掲載することとしています。

そこで、以下要領により読者の皆様から表紙写真を公募しますので奮ってご応募ください。

募集要領

1. 対象写真

年 5 回の発刊月（5 月、7 月、11 月、1 月、2 月）に合わせた写真（1 枚以上）

※複数枚ご送付いただいた場合は、選定は事務局にて実施します。

※被写体は「風景」にこだわられません。季節を感じさせるものであれば何でも可。

2. 送付手段

以下要領により、電子データにてご送付をお願いします。

①日工販事務局宛てメールに添付： jmta@nikkohan.or.jp

メール件名： 「《日工販 NEWS》表紙写真（応募）」

②大容量ファイル配信ツール（「FireStorage」など）等の利用で送付

③USB や CD 等による送付（媒体返却を希望する場合は「返却要」のメモを同封してください）

※上記いずれの場合も、以下事項を必ず添えてください。

- ・「撮影された方の会社名・所属部署・役職・氏名」
- ・「掲載希望発刊月」
- ・「撮影した場所や対象（風景の場合）、あるいは写真のタイトル」



3. 採否の連絡

採用された写真をご送付いただいた方には、当該写真が掲載された「日工販 NEWS」および御礼として QUO カードを送付させていただきます。

採用の連絡は発送を以て代えさせていただきますが、後々の掲載に備えてご送付いただいた写真は事務局でストックしていくため、適用月に掲載されない場合でも不採用の連絡はいたしませんので予めご了承ください。

■ 編集後記

昨年の記録的な猛暑を過ごし、暖冬になるのかと思いきや、日本海側は強い寒気団に覆われ、大変な降雪となり、各地で雪による被害が広がりました。被害にあわれた方にお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

我が家は実家への帰省がなくなった2回目のお正月を迎え、9日間という長い冬休みをどう過ごすかと家族で相談した結果、1泊2日のゴルフ旅行に出かけることにしました。

クラブセットを新調したので、意気込んで行きましたが、スコアはいつも通り。やっぱり道具じゃなくて、習うなり、練習しないとダメですね。

旅行もあり、今年のお正月は、おせち料理がなくても良いかと思いましたが、やはり考え直し、いつも重宝しているサイトのレシピを見ながら、栗きんとん、なます、田作り、煮物・・・と作ってみました。肝心の味の方も家族から上出来との評価をもらいました。

野菜を始めとして食材がことごとく値上がりしていて、財布はキツイですが、今年も趣味である週末シェフを継続していきたいと思っています。さて、次は何作ろう？ [久富]

2月、日本では旧暦で如月（きさらぎ）です。衣更着（きさらぎ）とも言います。まだ寒さが残っていて、衣を重ね着する（更に着る）月が本来の意味です。また、英語では February と言いますが、February の語源は、ローマ神話に登場する「月の神様の名前」フェブルウス [Februus] に由来しているそうです。フェブルウスは2月に行われていた慰霊祭の主神であったことから、派生した英語が February です。ローマ帝国の公用語であったラテン語では、2月を Februarius（フェブルアリウス）と言うそうです。また、地球の南半球にあるオーストラリアでは2月は夏です。2月と言ってもその地域、国によって気候も歴史も異なるので、「時候」のとらえ方は異なるものだと思いました。

今年の冬の天気ですが、12月中旬に発表された気象庁の長期予報では、降水量は、北・東日本の日本海側で平年並または多く、東・西日本太平洋側で平年並または少ないとのことでした。尚、日本海側の降雪量は、平年並または多いとの予報でしたが、実際12月後半からの降雪量が多い状況です。地球温暖化の影響で海水温が上昇し、湿った空気が多く降雪地域での雪の量が増えたとも言われています。異常気象もその度合いが年々増えているようです。個人としても会社としても少しでも CO₂ 削減に貢献し地球温暖化が減速するようしていきたいと思っています。 [中村]



お問い合わせ・ご意見をお寄せください。 ■ E-mail : jmta@nikkohan.or.jp

日工販NEWS February 2025

2025年2月発行

発行	行	日本工作機械販売協会 〒108-0014 東京都港区芝5-26-30 専売ビル3階 電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879
発行責任者	専務理事	中島 和彦
編集	日工販調査広報委員会	委員長 久富 常之（丸紅テクノシステム株式会社） 委員 君村 義人（伊藤忠マシンテクノス株式会社） 中村 龍二（株式会社トミタ） 金子 智彦（三菱商事テクノス株式会社） 長友林太郎（株式会社牧野フライス製作所） 伊藤 真（三井住友ファイナンス&リース株式会社）
制作・印刷	株式会社昌文社 〒108-0014 東京都港区芝5-26-30 電話 03-3452-4931	http://www.sho-shiba.com

正会員 (全82社)

東部地区 (37社)

(株) 旭 商 工 社
(株) アルビテクノロジー
(株) 伊藤忠マシントクノス
(株) イワイ機械
(株) ウインテック
(株) 大石機械
(株) カナデ
(株) カネコ・コーポレーション
(株) 兼松 K G K
(株) 京 二
(株) 共和工機
(株) 群馬工機
(株) 小林立機械
(株) 佐藤商事
(株) 三機商
(株) 三洋マシン
(株) サンワ産業
(株) シマモト技研
(株) 住友商事マシネックス
(株) セイロジヤパン
(株) 誠和エンジニアリング
(株) 双日マシナリー
(株) ツールドインターナショナル
(株) 帝通エンジニアリング
(株) テヅカ
(株) トミタ
(株) 豊通マシナリー
(株) N a i T O
(株) 日鋼 Y P K 商事
(株) 日清機工
(株) 丸紅テクノシステム
(株) 三井物産マシントック
(株) 三菱商事テクノス
(株) ヤマモリ
(株) ユアサ商事
(株) 米沢工機

中部地区 (23社)

(株) 石 原 商 事
(株) 岡 谷 機 販
(株) 力 ト 一 機 械
(株) 釜 屋 機 械
(株) 岐 阜 機 械 商 事
(株) 甲 信 商 事
(株) 三 栄 商 事
(株) サ ン コ 一 商 事
(株) 三 立 興 産
(株) 三 下 野 機 械
(株) 成 誠
(株) 大 大 商 会

(株) 東 陽
(株) 日 本 精 機 商 会
(株) 浜 松 貿 易
(株) 不 二
(株) 三菱電機メカトロニクステクノロジーズ
(株) 山 下 機 械
(株) U - M A C H I N E
(株) ワ シ ノ 商 事

西部地区 (22社)

(株) 赤 澤 機 械
(株) 伊 吹 産 業
(株) 植 田 機 械
(株) O T フ ァ テ ッ ク
(株) 関 西 機 械
(株) 京 華 産 業
(株) 合 田 商 事
(株) 五 誠 機 械 産 業
(株) 桜 井 機 械
(株) ジ ー ネ ッ ト
(株) ダ イ イ チ テ ク ノ ス
(株) 大 幸 産 業
(株) 立 花 エ レ テ ッ ク
(株) 西 タ ナ 力 善
(株) 西 川 産 業
(株) 日 工 機 材
(株) ニ ッ ツ マ シ ナ リ ー
(株) 日 本 産 商
(株) マ ッ ク マ シ ン ツ ー ル
(株) マ ル カ
(株) 宮 脇 機 械 プ ラ ン ト
(株) 山 善

賛助会員 (全76社)

製造業 (69社)

(株) アイダエンジニアリング
(株) アマダマシナリー
(株) 育 良 精 機
(株) エヌティーツール
(株) M S T コ ー ポ レ ー シ ョ ン
(同) L N S ジ ャ パ ン
(株) エ ン シ ュ ウ
(株) オ ー エ ス ジ ー
(株) オ ー エ ム 製 作 所
(株) オ ー ク マ
(株) 岡 本 工 作 機 械 製 作 所
(株) 神 崎 高 級 工 機 製 作 所
(株) 北 川 鉄 工
(株) キ タ ム ラ 機 械
(株) 北 村 製 作 所
(株) キ ャ ド マ ッ ク
(株) キ ャ ム タ ス
(株) 黒 田 精 工
(株) 三 愛 エ コ シ ス テ ム
(株) サ ン ド ビ ッ ク
(株) 三 宝 精 機 工 業 株 式 会 社

(株) C & G シ ス テ ム
(株) ジ ョ イ テ ク ト
(株) シ ギ ヤ 精 機 製 作 所
(株) シ チ ズ ン マ シ ナ リ ー
(株) 芝 浦 機 械
(株) シ ン ク ス
(株) 新 日 本 工 機
(株) 住 友 電 気 工 業
(株) ソ デ イ ッ ク
(株) 大 日 金 属 工 業
(株) 太 陽 工 機
(株) 高 松 機 械 工 業
(株) T A K I S A W A
(株) ツ ガ ミ
(株) 津 田 駒 工 業
(株) D M G 森 精 機
(株) 東 京 精 機 工 作 所
(株) 東 京 精 密
(株) 東 洋 精 機 工 業
(株) ナガセインテグレーション
(株) 中 村 留 精 密 工 業
(株) 西 田 機 械 工 作 所
(株) 日 研 工 作 所
(株) 日 進 製 作 所
(株) ニ デ ッ ク オ ー ケ ー ケ ー
(株) ニ デ ッ ク マ シ ン ツ ー ル
(株) ハ イ デ ン ハ イ ン
(株) 長 谷 川 機 械 製 作 所
(株) 初 田 製 作 所
(株) 浜 井 産 業
(株) 浜 名 エ ン ジ ニ ア リ ン グ
(株) B I G D A I S H O W A
(株) フ ァ ナ ッ ク
(株) F U J I
(株) 二 村 機 器
(株) ブ ラ ザ ー 工 業
(株) 豊 和 工 業
(株) 牧 野 フ ラ イ ス 精 機
(株) 牧 野 フ ラ イ ス 製 作 所
(株) 松 浦 機 械 製 作 所
(株) 三 井 精 機 工 業
(株) ミ ツ ト
(株) 三 菱 電 機
(株) 三 菱 マ テ リ ア ル
(株) M O L D I N O
(株) 安 田 工 業
(株) ヤ マ ザ キ マ ザ ッ ク
(株) 吉 川 鐵 工

リース業 (7社)

(株) 共 友 リ ー ス
(株) J A 三 井 リ ー ス
(株) 十 六 リ ー ス
(株) 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス
(株) 三井住友ファイナンス&リース
(株) 三 菱 H C キ ャ ピ タ ル
(株) 三菱電機フィナンシャルソリューションズ



日本工作機械販売協会

JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-30 専売ビル

TEL.03-3454-7951 FAX.03-3452-7879

<http://www.nikkohan.or.jp>